衣笠中学校ブロックの小中一貫教育

令和８年度（2026 年度）版

小中一貫教育構想図

衣笠中学校区　小中９年間の教育目標

地域の学校での連続した学びを通して、学ぶ意欲をもち、実践力のある子どもを育てる
～地域社会の一員として、伝統を重んじ、未来を創造する子どもを～

目標

自ら学ぶ力　　自ら律する力

目指す子ども像

・自学自習の習慣を形成し、自ら学ぶ姿勢をもつ
・社会の一員として自覚をもち、自他の生命を尊重し、互いに支え合う
・地域の歴史や文化を尊び、よき伝統を守り、継承しようとする
・美しいもの・ことに、純粋に感動できる感性をもつ

義務教育卒業時につけたい力

・人と共に社会を生きる力　　・自分を知り律する力
・課題を見つけ、解決する力　　・夢や希望をつくりあげる力
・社会に貢献する力

具体的な手立て

計画

～カリキュラム・教育活動の連続性～

３ｒｄステージ【中二・中三（８・９年）】

・進路の向こうにある自分の姿を考え、判断し、行動する
・社会の中の一員として、社会に貢献できる自分の可能性を広げる
・習慣化した運動の取組、健康に対して自己管理能力を高める

・自ら挨拶をしたり場に応じた言葉遣いをしたりするなど、社会性を高めていく。
・自ら将来展望を行い、実現達成に向けて必要な手立てを考え実践する。
・地域性を鑑み、地元住民と触れ合うだけでなく外国の人々とも触れ合うことも想定し、英語力を高めるとともに地域の伝統文化について語れるようにする。
・健康について自己管理能力を高めるとともに、特に相手の立場を尊重したつき合い方ができるようにする。

２ｎｄステージ【５・６年・中一（５・６・７年）】

・主体的な学び、他校種間との交流、自分自身に応じた進度の取組
・リーダーとして周囲に対しての目配りや気配り・心配りの実践
・心と体の学習の充実、様々な運動に挑戦する姿、成長にあった食生活の充実

・授業を通して、どの児童・生徒も課題解決に向けて自ら追究したり仲間と共に課題解決したりする喜びをもつ。
・他校と連携して、周囲との人間関係を広げながら自ら様々な課題を見つけ、仲間と共に解決を図ったり、自己研鑽につなげたりする。
・自他の生命を尊重し、且、自身の健康管理について手段・方法を選択し実践する。

１ｓｔステージ【１・２・３・４年】

・学習規律の確立、学び方や学習方法の習得、基礎基本の定着
・学校生活に主眼をおいた生活習慣の確立、集団生活におけるルール遵守
・多様な遊びの体験化、昔の遊びにおける地域との連携

・人権を基盤とした学級経営。話すこと・聞くことの正しい態度を身につける。
・授業を通して、どの児童も学習する楽しさや学習に参画するよさを体感する。
・授業での ノートの書き方や話型を活用して発言の仕方等を身につける。
・衣笠中学校区内でのルールの統一化を図り、どの児童も共通の価値をもつ。
・地域の方々をはじめ、「地域力」を活用して、児童が地域愛をもつ。

確かな学力　　豊かな心　　健やかな体

体制

小中教職員の連携・協働

・学力調査結果の共有　　・合同研修、研究等
・行事参観、授業参観等　　・合同行事、授業等

教職員の資質向上

削除しました

家庭・地域との連携・協力

・学校運営協議会の活動　・PTA 行事の参加
・地域行事への関わり　　学校行事の参加・北区・上京区域のイベント参加
・地生連と共催　等

地域力の向上

衣笠中校区 小中一貫教育の基盤